

平成31年度シラバス 作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎作業学実習 I		実習	石橋 保子・岸田 由起・中曾 晃子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
作業療法の臨床で用いられる幅広い作業の種目別技法を身につけるとともに、その作業を治療的に応用する視点を学ぶことを目的とする。具体的には陶芸・あんでるせん手芸・音楽療法を体験し、治療的応用を考える。陶芸は中曾、あんでるせん手芸は石橋、音楽療法は岸田が担当する。				
授業の到達目標				
1. 陶芸の作品を制作できる。 2. あんでるせん手芸の作品を制作できる。 3. 音楽療法について説明できる。 4. あんでるせん手芸の作業分析ができる。				
授業計画				
回	内容		回	内容
1	陶芸；①手びねりで（玉づくり）茶碗作業		16	陶芸；釉かけ、絵付け
2	②タタラで小皿作成		17	⑩自由製作の仕上げ
3	①の茶碗を削り		18	〃
4	③手びねり（ひもづくり）で湯のみ作成		19	音楽療法；ガイダンス 自己紹介 音楽とは、音楽療法とは
5	③の湯のみを削り		20	音楽療法の歴史、定義、理論、楽器の使い方
6	④手びねり（ひもづくり）で鉢作成		21	高齢者領域①（認知症、アルツハイマー型認知症）
7	釉薬についての説明と釉かけ		22	高齢者領域②（回想法、記録、評価）
8	④の鉢を削り⑤箸おき作成		23	障害者領域（身体障害者、知的障害者、精神障害者）
9	⑥タタラでマグカップ作成		24	終末期領域（ホスピス、緩和、グリーフケア）
10	⑦タタラで大皿作成		25	様々な音楽療法（難病、介護予防、災害避難者）
11	⑧徳利又は花瓶（ひもづくり）作成		26	音楽療法総括、グループディスカッション、まとめ
12	⑨電動ロクロ体験		27	あんでるせん手芸；作品作成①
13	⑧徳利又は花瓶の削り		28	作品作成②
14	⑨電動ロクロ作品削りと作成		29	作品作成③
15	⑩自由製作		30	作業分析
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
担当教員				
定期試験				
レポート	45%	音楽療法の理解度や対象者へ音楽を使用する際の考えや思いをもとに評価する。【岸田】		
小テスト				
平常点	15%	授業態度や活動に対する取り組みや姿勢、出席状況をもとに評価する。【石橋・岸田】		
その他	40%	提出作品で評価する。【石橋・中曾】		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
作業活動実習マニュアル第2版【石橋】	監修 古川 宏	医歯薬出版株式会社		
自由記載	講義資料を配布する。楽器、CD、DVDを使用する時あり。【岸田】			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
音楽療法入門 上・下【岸田】	日野原重明	春秋社		
音楽療法を知る ―その理論と技法―【岸田】	宮本啓子・二俣泉	杏林書院		
自由記載				
備考				
様々な曲や楽器を体験して、音楽にはどのような作用、効果があるのか実感して欲しい。【岸田】 作成する作品は、進行具合で変更します。【中曾】				